

提携米通信

2022年11月号・黒瀬農舎

収穫無事完了！でも、苦勞の多い秋でした。



遅めに始まった稲刈りも無事終了！

15年前導入のコンバインは、今年百万円余りかけてメンテナンス。そのお陰で順調に稼動してくれました。 撮影：2022.10.12

今年の稲刈りは、天候不順で、例年よりも少しスタートが遅くなりました。

稲刈りを始めた頃は、天候が好く、休憩時にはトラックに逃げ込み、車のエアコンで涼まないとな作業が続けられない暑さでした。

でも途中から天候激変。雨合羽などを着ないと寒さに震える日が急に来たり、後半になると、時雨や地雨の日が多くて、苦勞の多い年でした。

最近の稲刈りは、昔に比べると、収穫機械が高性能化して、価格は1千万円を遥かに超える

ものの、雨や風で倒れるなどの悪条件下のイネでも能率良くこなすのですが、脱穀選別が風力方式のため、朝露や雨でイネが湿っていると作業できない仕組みです。

私たちのような東北地方では秋が深まると、時雨の時期を迎えます。お昼前にやっと朝露が落ち作業を始めた途端に10分ほど時雨が来た。・・・こうなると数時間は作業待機。作業再開後夕方4時過ぎには夜露が降る日もあり、これで作業終了。こんな日の作業時間は僅か1、2時間。

10月中旬頃から今年は時雨が多く、好天ならばあと数日で稲刈り作業完了の予定の農家は、収穫完了が11月まで延びそうという家もありますが、我が農舎は、最後の悪天候に入る前に何とか終了できました。

ところで、今年の作物。稲刈りスタート時には「豊作とは言えないまでも、大きな被害もなさそう。」と思っていましたが、収穫が進むにつれ、不作の田んぼ続出の情報。8月の雨天が原因で、品種、作期により被害が少ない田んぼもあるものの、平均的には2割ほどの減収のようです。

提携米 黒瀬農舎
 〒010-0445
 秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7
黒瀬 正・友基
 TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887

★新米のご贈答利用もどうぞお願いします。

★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。

★変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。

E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#) [検索](#)

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

地球温暖化で、気象災害も様変わり（Ⅱ）

11月3日文化の日は、恒例の「馬場目川源流部にブナを植える集い」を行います。ブナ券のカンパなどありがとうございました。

しかし、コロナが終息しないため、植栽イベントの参加は地元中心で、我が農舎ロッジでの宿泊や懇親会は来年以降のコロナ状況が落ち着いてから・・・とさせていただきます。



雑草に制圧されたあきたこまち有機栽培田

コンバインで刈取ろうとしましたが、雑草がからみついてコンバインは走行不能。2022.10.5撮影

ところで作柄問題ですが、稲刈り作業で田んぼに向った時は「平年作は間違いなさそう。」と、実に立派に穂っているように見えました。

コンバインで収穫すると「どんどん籾はたまり、大きな問題はなさそう。」と思いました。

この籾を風力乾燥して、数日後に、当面急ぐお米だけを籾摺りすると「予想していたよりも、少し収量は少なそうだ。」とは感じました。

ところが、冒頭のように、収穫作業が進むにつれ、不作だ。不作だ！との声が上がりました。

品種や植え付け時期の早晚など作期の違いで、減収が大きい田んぼや、例年と大差ない田んぼなど違いはある

ものの、平均で20%程度の減収のようです。

このように、今年不作は、今までの不作原因である台風や冷害、病気の多発などとは異なり、8月に好天日がほとんどなかったことで、茎の数や籾の数が少ない上に、不稔籾や屑米が多いなど、根本的な原因が違ったためになかなか見抜けなかった珍しい現象です。

もともと、8月に好天日が4日だけだったという、今まで経験したことのない現象は、地球温暖化に起因していることのようにです。

私たちの日常生活ではまだそれほど問題視や自覚されていないように感じられますが、いま叫ばれている脱炭素は重要な問題のようです。

さて、前号でもお伝えした無農薬栽培のあきたこまちの一部は、写真のように、実に惨めな姿になりました。

マガモ君の応援、除草機掛け、手取り除草など雑草対策を駆使しましたが、夏の長雨で田んぼが乾かず手取り除草の2回目ができなかったごく一部分（全体の5%弱）は、雑草まみれとなり全滅でした。

これも温暖化による影響ですが、この失敗は今後に生かしたいと思っています。



無念！ 有機栽培あきたこまち粉碎 2022.10.25撮影
稲刈り終了後、刈取り不能だった部分は、このままでは翌春に耕起できないためイネもろともチョッパーで粉碎。

お餅・リンゴ・手作り味噌などご注文ありがとうございました。

お餅などは：お指定のない限り、11月下旬から年末までのお米と一緒にお届けします。

リンゴのフジは：11月下旬～12月上旬（ご指定頂いている方は、その時期）のお届けとなります。

糀、大豆など手作り味噌関係は：1月下旬以降のお届けとなります。

（進物先と自宅のお届け時期を変えるなどのご用命は、何なりと電話やメールでご連絡下さい。）